

三寒四温を繰り返しながら春が近づいてきました。行動制限のない年末年始、新型コロナウイルス感染症の「2類」から「5類」へ引き下げ、マスク着用の考え方見直し等ようやく長いトンネルの出口が見えたような気がしますね。それでは今月も張り切ってお伝えします。

### 《SOGIハラについて》

ハラスメント(嫌がらせの意味)にはいろいろな種類がありますが、SOGI(ソジ)ハラはご存じでしょうか？SOGIとは「Sexual Orientation and Gender Identity」の頭文字で直訳すると「性的指向(好きになる性)と性自認(心の性)」という意味になります。そして「性的指向や性自認について嫌がらせを行うこと」をSOGIハラといいます。SOGIは同性愛の人なども含めすべての人が持っている属性です。それに対してLGBTは好きになる性が同性、両性、心と体の性が一致しないなどの頭文字をとった言葉で人そのものを表す言葉とされています。それではどのようなことがSOGIハラにあたるかという以下のようなものがあります。

#### 1. 差別的な言動や嘲笑、差別的な呼称

例 ホモ、レス、オカマなど差別的に呼ぶ

#### 2. いじめ・暴力・無視

#### 3. 不当な異動や解雇

例 その見た目だと得意先が戸惑うという理由で営業から内勤に異動させる

#### 4. 望まない性別での生活の強要

例 心の性は男性に対して制服であるスカートを強要すること

#### 5. 誰かのSOGIについて許可なく公表すること(アウティング)

そもそも職場にはいないからハラスメントなんておこらないし・・・と考えるかもしれませんが自らLGBTをカミングアウトする人がどれだけいるのでしょうか？日本におけるLGBT等の人口割合は約8%ともいわれていることを考えると、自分でLGBTを認識していてもカミングアウトできない人が多くいることがわかると思います。そのため、何気ないうわさ話(例えばLGBTではないかという憶測や推測)のつもりでもカミングアウトしていない当事者はとても不快に感じたり、LGBTがばれないようにするために、自分の意に反して同調することにとってもストレスを感じることでしょう。SOGIハラの中でもアウティングは特に気を付けなければならないと思います。そもそも良かれと思って上長だけにカミングアウトしたのに、自分の意に沿わない形でどんどん他の人に広まったらどうでしょう？もちろん、十分に理解し受け入れてくれる人もいます。しかし、1、2、3のようなSOGIハラに発展するかもしれません。それがエスカレートしたことにより精神障害を発病し労災認定された事例も増えています。ではどうしたらいいのか？まずは、いろいろな人が存在すること、そしてそれを認めることだと思います。

